

名前：

今、世界各国はインターネットでつなが
ていて、本当に「世界村」のようになって
もいえる。どこにいても、インターネットを
使って、知りたいニュースがすぐ見える。と
いうわけで、ある人が「インターネットでニ
ュースを見ることが出来るから、もう新聞や
雑誌はいらない」という意見を出す。確かに
そういう向きがあるかもしれないが、現在の
時点では、私は反論を持っている。

インターネットでニュースを見るのは新聞
や雑誌などずっと速い。それは間違いない。
そして、インターネットで見えるニュースの
量も新聞や雑誌と比べると、ずっと多い。し
かしだからこそそれはよくないと思う。私た
ちは一日中二十四時間を使ってニュースを見
るわけがない。世界各地のニュースを読み切
りわけもない。重要で、自分に密切な関連が
あるニュースだけを見たらいいと考える。イ
ンターネットのニュースが多すぎて混雑して
いるに対して、新聞や雑誌の内容はもう編集

者の手に経て、選択されたものである。わず
かの時間を使っても世界の大体の状態がわか
るようになる。

それから、インターネットが世界中で自由
に使えるようにな、たとっても、どこでも
いつでも使えるわけがない。多くの方は通勤
や通学するとき新聞や雑誌でニュースを見る。
もしそれらがなくな、て、ニュースを見たい
ときはパソコンを持たなくではいけない。そ
うしてもインターネットにつなげるかどうか
も問題がある。それではすごく不便になる。

確かにインターネットでニュースを見るの
は紙の減量というメリットがあるし、森の守
ることに役に立つと思うが、上述の問題が解
決できない限り、簡単に「新聞や雑誌はもう
いらない」とはいえない。これからどのよう
な努力をして、世界のみんなにもっと便利な
生活をもたらすと環境問題の間にバランスを
取れるのか地球に生きているわれわれが考
えすべき課題だと思う。